

声明

市民と野党は、羽田雄一郎さんの実弟・羽田次郎さんを候補者として、「立憲主義を回復し、憲法を暮らしと政治に生かし、競争と自己責任の社会から、いのちと人間の尊厳を守る社会へ」のタイトルで7節27項目からなる政策協定を結び、その必勝を期して

逝去されました。その補欠選挙が、4月8日に告示され25日投開票で行われます。

2019年の参議院選挙で市民と野党の共闘で当選を勝ちとつた羽田雄一郎参議院議員が、昨年12月27日、新型コロナの犠牲となり

同盟県本部は4月14日の理事会で、来る参院補欠選挙の重要な意義を確認し、次のような声明を発表しました。市民と野党の統一候補・羽田次郎さんの勝利のため頑張りましょう。

羽田次郎さんの勝利で 長野県から新しい日本の発信を!!

国賠同盟長野県本部理事会



長野県版
第481号
2021年4月

治安維持法同盟
長野県本部
〒380-8790
長野市県町593
高校会館内
連絡 竹村利幸方
TEL・026-226-0854
FAX・026-266-0864

連日奮闘しています。

この選挙は単なる補欠選挙にとどまらず、日本の政治の展望と未来を占う重大な意義をもつ選挙として、政界をはじめ多くの国民の注目が的となってています。

それは第一に、羽田次郎候補の勝利は、市民と野党の共闘による新しい政治の流れをより確かなものとし、野党連合政権への展望を持つ選挙だからです。

第二は、国民のいのちと暮らしをはじめ憲法・議会制民主主義・平和と安全の破壊など悪政のかぎりを尽くした安倍政権を丸ごと継承する菅政権に対し、初めての国政選挙として審判をくだす重大な性格をもつ選挙だからです。

第三は、10月までには必ず行われる総選挙の前哨戦として、日本の政治と未来を占う大きな期待のかかる選挙でもあるからです。

そして、国賠同盟にとっては、再び暗黒政治を許さず、治安維持法犠牲者の救済・国家賠償の国会請願署名が可決される新しい希望の政治へ、その可能性と出発点ともなる重要な意義ある選挙です。市民と野党の統一候補・羽田次郎さんの勝利のため、国賠同盟の歴史的使命に立つて力を尽くし頑張りぬきましょう。

2021年4月8日

国会請願署名提出 5月12日

治安維持法犠牲者救済法の制定を求める署名の国会請

願は、5月12になりました。

▼同盟員は最後の署名活動に力を尽くしましょう。

▼依頼した団体へ、署名回収に必ず訪問しましょう。

▼支部又は会員の手元にある署名は、5月9日までに事務局へ。

県内の動向

国民の暮らしと平和・民主主義を守る運動の中で、志半ばで亡くなられた方々の遺志を継ぎ、「遺族を励ます合葬追悼会は、3月18日行われました。コロナ禍のもとで式典、墓前祭は行われませんでした。合葬された方々は、全国で1045人、長野県は32名、内国賠同盟関係者は次の8名です。

映画「伊藤千代子」製作・上映長野県実行委員会を結成
須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したことが忘れない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したことが忘れない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。
映画「伊藤千代子」製作・上映長野県実行委員会を結成
須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したことが忘れない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

第74回解放運動
無名戦士**合葬追悼会****実行委員長に木嶋日出夫さん**

17名の呼びかけ人による映画「伊藤千代子」の製作・上映実行委員会のつどいは3月28日、長野市で30人が出席して開催され、実行委員長に元衆院議員木嶋日出夫弁護士が就任しました。また同代理には石坂ちほ元県会議員がつかりました。

また、当時は元前進座の嵐圭史さんと全国実行委員会事務局長の藤田廣登さんが、東京から駆けつけ激励のあいさつと全国のとりくみの状況について話されました。

長水・木曾・諏訪の実行委員会からとりくみの現状と決意が披露され、募金や上映の企画などは地域の実行委員会が中心に行い、県の実行委員会は、地域実行委員会等の交流や情報の提供を行い、募金等の活動がスムーズに進むことをめざします。

募金の目標は全県で100口（1口は10万円）、上映鑑賞は2万人を目指します。

市民アクションが主催**感動の前川・寺脇対談****羽田候補を限りなく激励**

青山靈園にある無名戦士墓



羽田候補を真ん中に前川・寺脇さん

信州市民アクションの主催による「前川・寺脇対談—市民と野党のつどい」は、4月4日JAアクティーホールで行われ、会場140名、ズームで100名が参加されました。

安倍・菅政権の下で、官僚の忖度がはびこるなど政治の腐敗と民主主義の劣化が国民から嘆かれていましたが、文部官僚であった前川・寺脇さんは、こうした問題を厳しく批判しました。

羽田次郎候補は、「お二人のお話を伺い政策協定を結んだことは自分自身の判断間違つていなかつたと再認識。お二人のお話を聞いて、自信がつきました」と力強くあいさつをされました。

この人紹介**関野貞夫さん (同盟元常任理事)**

須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したこと忘れられない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したこと忘れられない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したこと忘れられない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したこと忘れられない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

須坂の妙徳山の南西に広がる八町ののどかな田園地帯で暮らし、92歳となられたとのこと。国賠同盟へは富岡知雄さんや山ノ内の杵淵茂さんの紹介で加入。京都・宇治の山宣碑前祭や、北海道の多喜二記念館や野呂栄太郎の墓参に、国賠で旅したこと忘れられない。青柳盛雄さんと山原健次郎さんから頂いた色紙を、今も大事にしまわれている。本物は、共産党本部の資料室に寄贈された。

（三）永田が最も活躍した年代・一九三六年（2）
（『唯物論と経験費反論』を中心に） 中信支部 島崎建代

次はレーニンの代表作『唯物論と経験批判論』の翻訳に一九三六年から取り掛かり、同年に『「唯物論と経験批判論」研究』

（連邦アカデミア・哲学研究所共著・ナウカ社）を翻訳しています。三七年に『唯物論と経験批判論』（レーニン著・白楊社）を翻訳します。「初版本」では「訳者より」で始まり「1本書は修

正主義に対するマルクス主義に対しても、最も徹底的に戦い、それによつてマルクス主義の理論を新段階に高めたのはレーニンであり、本書は實にこの闘争の文書である」 「3本訳書は『レーニン全集』第三版第十三巻によつた。」 「4翻訳に当たつては、英、仏、独訳を参照した。」 邦訳の中では岩波文庫本を参考した。同文庫本は佐野文夫氏の訳だけに全体として極めて立派なものである」と書いています。文中の「佐野文夫」は一九二六～二七年に出版された『レーニン著作集』全十巻（白楊社）の編集委員。一九二八年には世界最初の『マルクス・エンゲルス全集』（改造社）の発刊が開始されます。

日本の素粒子物理学の創設者・坂田昌一教授（教え子にノーベル賞の益川敏英名大教授）は、『物理学と方法』（岩波書店一九五一年）の「26科学と哲学」で「今世紀初頭物理学のおおいつた危機の本質をつきとめ、その正しい解決方法を指示したのは、ロシア革命の指導者レーニンその人であった。」 物理学によつて唯物弁証法を発展させたのである」と研究者の立場から論じています。戦後、一九五〇年から『唯物論と経験批判論』（レーニン著・社会主義研究会）、五一年に学芸社、五二年には富士出版社から、連続して『唯物論と経験批判論』の永田訳が出版されています。四九年、湯川秀樹博士の日本人初のノーベル物理学賞受賞が影響していると思います。——以下次号へ

本紹介

『我らに平坦な道なし』

深部の力が希望を開く 今井 誠著

本著は、半世紀にわたる共産党県委員会の専従役員として、とにかく1990年から46歳の若さで県委員長なられた今井誠さんが、専従の任の終了を節目に、自らの軌跡をたどった物語である。自分史でも党史でもないが、党の政策や方針・たたかいに、自らの生き様を重ね、時代と社会を喝破してたたかいたい抜いた実録の書である。

幼少期の苦労等の経験は、今井さんの人柄や人格形成の血とし肉としてまとめ上げ、今井さんらしい庶民的で現場感覚を大事にする資質となつていて。

本書が『我ら平坦の道なし、深部の力が希望を開く』などと固いタイトルにもかかわらず、読み始めたらぐいぐいと引き込まれてしまう。その要因は、まさに「庶民的で現場感覚」に由来するのかかもしれない。

圧巻は“田中知事の当選一不信任・再選一おごりと敗北”の所。

2002年の『前衛』の論文は、今読んでも感動する名論文。

我らに平坦の道なし
深部の力が希望を開く

多くの人に読んで欲しいのだが、非売品で発行部数が限定されている。思案しているが何とか智恵をしぼつて検討したい。

文責・

編集部 山口光昭

同盟員の文化・芸術作品



牛

遠山 茂治

八丈島で闘牛を観た
観光用の催して

牛と牛に角突きあわさせ
いい加減なところで
引き合けておしまい

牛と人との闘いは
スペインの闘牛場
格好つけた闘牛士が
赤いマントを翻し
危機一発をすり抜ける

そういえば

牛の角に松明をつけ
火をはなつて追い落し
敵陣破つた武将もいた

牛は角があるばかりに
人はそれを利用し
勝つた負けたと大騒ぎ
裏でごつそり金をもうける

牛に角があるばかりに
角突き合わされた
牛の目から

大きな涙が落ちたのを
人間たちは知らない

（長野詩人会議「狼煙」
NO.94号から）

長野詩人会議の紹介
全国「詩人会議」に連結。創造上の傾向や方法のちがいをこえ、平和と進歩・民主主義を共通の立場にとりくむ任意の文化団体。
事務所は、松代の大島博光記念館に。詩集『狼煙』は長野詩人会議の機関誌。“平和へ狼煙をあげる”ことを共通の思いに、年4回発行。現在94号を数える。
入会金1000円、会費年額2000円。どなたでも加入できます。



長野詩人会議のみなさん
中央は遠山茂治さん